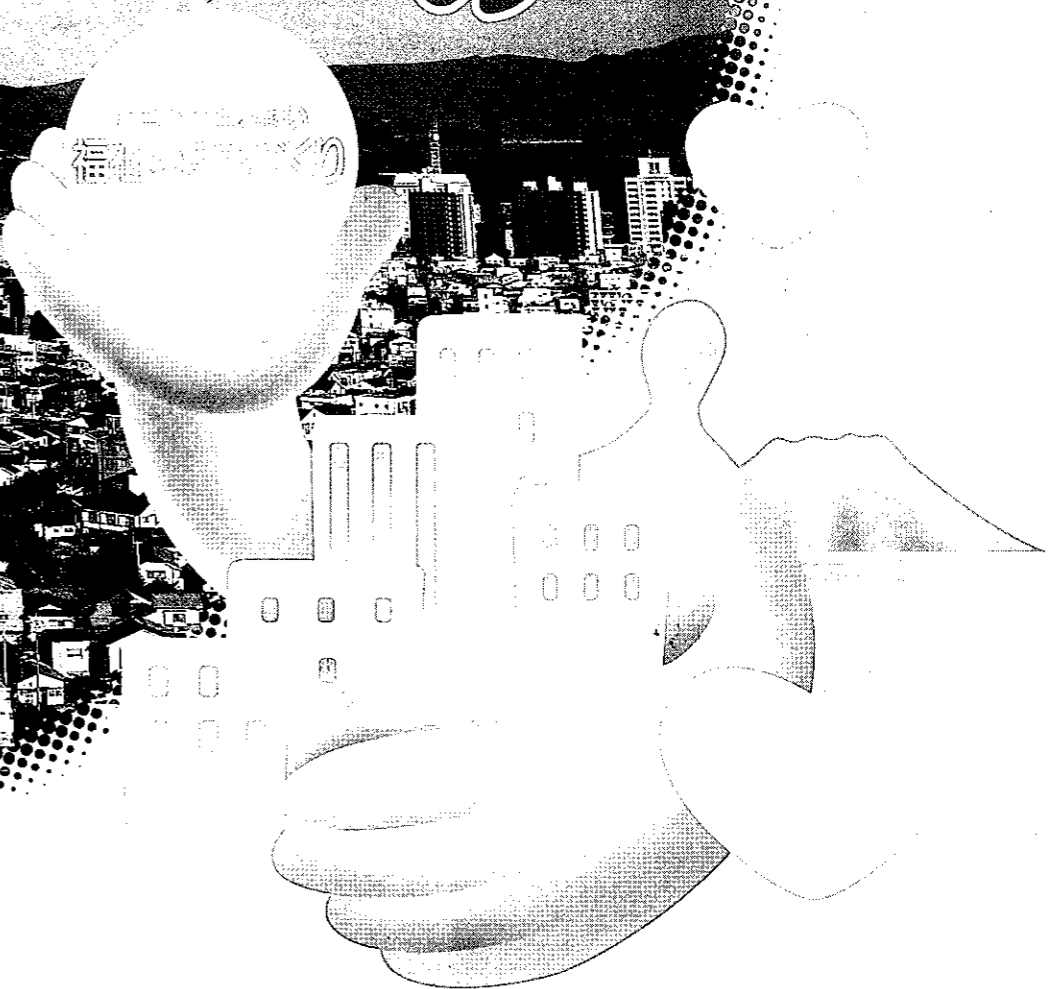


ひとまち、 バリアフリーの かごしまです。



21世紀のキーワード「ユニバーサル」の言葉があります。
バリアフリーとは高齢者や障害者の方々の生活や活動の
妨げとなる障壁「バリア」を取り除く「フリー」という意味です。
鹿児島県はこの「ユニバーサル」を通じて

すべての県民が自分の意思で自由な行動し
社会に参加できる心豊かな住みやすい「福祉のまちづくり」を進めています。

福祉のまちづくりを実現するには、建物や道路、公園などを
高齢者や障害者の方々が
安全かつ快適に利用できるための整備が必要です。

そして何より一人ひとりの心のバリアを取り除くことで、
お互いに助け合える社会を
思いやりに満ちた社会を育むことが大切なのです。

みんなに住みよいまちをみんなで築くために、
みんなに知ってほしい。そんな思いから、

人と人のバリアフリーコミュニケーションを紹介する
広報誌「ありば」をつくりました。

「バリア」を反対から読んで気づけた「ありば」。

「バリアなまち」ではなく「ありばなまち」が
あたりまえの21世紀になることを、鹿児島県は願っています。

ようこそ、「ありば」のまちへ。

「ありば」のまちは「バリア」のないまち。
大人も子ども、お年寄りも障害を持つ人も、すべての人が
いきいきと共に輝きながら暮らしています。
鹿児島県の「ありば」な風景を、これからちよっとご案内。
まちの隅々までご覧ください。

4P ありば*びと

シドニー・パラリンピック出場
岡留晴文さん・森田紘一さん

18P

ありば*びと
ハートピアかごしま

20P やさしさのカタチ

ドラマ
「ビューティフルライフ」に見る
バリアフリー

8P さらばりあ塾

【今回の塾長】
アイメイト鹿児島 内野カツ子会長と
アイメイト(盲導犬)のプティちゃん

7P うれし自分史

政岡ミサさん(串木野市)

22P かごしまのバリアフリー

福祉のまちづくりをめざして

11P あったか・ことば

手話で話そう
咲月 遥さん

12P ありばレポート

【かごしまのボランティア】
●ひまわり電車を走らせる会
●武岡台養護学校と鶴丸高校
●末吉町のハーモニー手話同好会
●隼人町点訳ボランティア

16P イベントガイド

●鹿児島車いす駅伝競走大会
●ハートピアかごしまふれあいフェスタ
●バリアフリー天文館

ありば びと

BITO
INTERVIEW



2000年シドニーパラリンピック射撃競技に出場

おかどめ はるみ
岡留 晴文さん

九州ライフル連合理事長・鹿児島県ライフル射撃協会理事長

もりた こういち
森田 紘一さん

岡留さんは、2歳のときに小児まひで両足が不自由になった。車いす生活ではあるが、車に乗り家業の酒屋を切り盛りしている。2000年シドニーパラリンピックの射撃競技に出場した。

一方、森田さんは、19歳のときから射撃をはじめたという鹿児島県射撃界の草分け。国体や全日本の大会に出場し優秀な成績を残す。穎娃町立青戸中学校の校長先生であり、九州ライフル連合理事長と鹿児島県ライフル射撃協会理事長を務め、岡留さんの師匠でもある。



前向きに、ひたむきに取り組めば、道はおのずと開けます。

アーチエリーからエアライフルへ

昨年10月に開かれたシドニーパラリンピックで射撃競技のエアライフル10メートル級に日本代表として出場した岡留晴文さんは、県内ではたった1人のパラリンピック選手だった。ライフル射撃を始めたきっかけをたずねると、「平成2年からアーチエリーを始め、平成9年頃までやっていました。平成4年には身障者団体と言われる全国身障者大会に出場し銀メダルでした。」

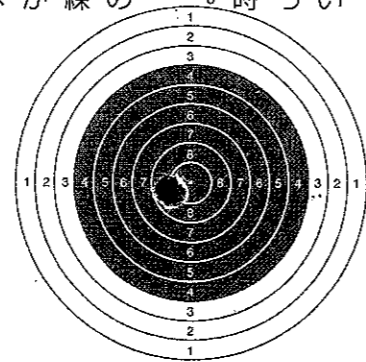
川内市のアーチエリー場に、志布志の自宅から月に1〜2回通っていました。もともと射撃には昔から興味があったのですが、まさか障害者ができるとは思っていませんでした。インターネットで調べたところ「日本障害者射撃連盟」という団体を知ると同時に、パラリンピックの競技種目になっていることもわかり、始めようと思ったのです。「何事にも積極的な岡留さんは、さっそく鹿児島県のライフル協会に問い合わせた。「障害者でもできますか。」「もちろんです。大歓迎ですよ。」「そうしたやりとりがあつて、平成10年春から鹿児島市犬迫町にある県のライフル射撃場へ通いはじめた。県ライフル協会初の障害者会員でもあった。」

どうまで集中できるか！

射撃競技はライフルとピストルに分かれ、ライフルは10メートルと50メートルの競技がある。岡留さんは10メートル競技で、10メートル先の的を車いすに乗った姿勢で狙う立射と、伏せて撃つ伏射に挑んだ。「10メートル先の

的なら簡単だろう」とたれもが思うにちがいない。しかし、その的を見せてもらって驚いた。10センチ四方の紙に直径4.5センチの円が書かれ、中心に向かって5ミリ単位で同心円が描かれている。円と円の間隔はわずか2.5ミリ。まん中に命中すれば10点で、10点圏は0.5ミリである外側にいくにつれて9点、8点と得点が下がっていく。競技では1時間45分の持ち時間の中で60発撃ち、合計得点を競う。600点満点が最高得点だ。

「僕が最初に参加した国体予選の立射は42.1点でした。それから、練習するたびに得点が上がっていくのが嬉しかったですね。アーチエリーよりも、もっと鋭い集中力が求められ、集中できるときは10点が続くのですが、そのリズムを維持するのが大変です。」と射撃のむずかしさを語る岡留さん。しかし、始めてわずか2年でパラリンピック日本代表の座を射止めた。「いやあ、正直言って驚きました。まさか自分が選ばれるとは思っていませんでした。しかし、選ばれたからには全力を尽くそうと、週に3回は射撃場に通って練習しました。」家の壁に標的を貼り、銃を構える据銃練習も繰り返ししたという。努力家である。



60197

Verein _____ Ort u. Datum _____

Schütze _____

Schieß-Sport-Center Allermann
28870 Ottersberg, Alter Weg 61, Tel. (0 42 05) 39 400, Fax 39 40 39

エアライフルで使用する標的(原寸大)

Bestell-Nr. 1031



シドニーパラリンピックでの岡留さん

みんなの後押しで、世界へ。 まさあか 政岡 ミサさん (申木野市)

アビリンピック・オリンピックやパラリンピックならご存知の方も多いでしょうが、アビリンピックというのはあまり聞かれたことがないと思います。私自身、そうしたものと知ったのは、平成9年に入来町にある鹿児島障害者職業能力開発校に入ってからでした。アビリンピックとは障害者技能競技大会といって、職業技能・生活余暇技能など3部門42種目に分かれて技を競う大会です。

私は生まれつき左腕が不自由で、学校を卒業して20歳くらいまで家にいました。「身体にハンデがあるからといって、家でぶらぶらしてはいけない」と思っていた頃、ちょうど巡回相談というのがありました。相談員の方から「更生指導所に行ってみませんか」と言っただき、洋裁を習い始めました。その後、洋装店に勤めたり、嫁いでからは内職をしたりしていました。そして職業能力開発校入学。



私は学校に入って1年もしないうちに先生のすすめで国内大会に出場しました。結果、金賞をいただくことになり、去年の夏にチェコ共和国のプラハで開かれた世界大会へ。私ぐらいの実力で大丈夫だろうか？としり込みしていたのですが、開発校の先生や家族の励ましで参加しました。世界各国から身体にハンデのある人たちが一堂に集まりました。私が出場した洋裁部門は、3時間の制限時間内にブラウスを縫い上げる競技です。さすがにスピードも技術も私よりずっと上の方がたくさんいて世界はなんと広いのだろーと思いましたが、しかし、その方たちはハンデがあることなんかまったく気にせず、明るく前向きな方ばかり。

競技を終え、いろんな国の人と交流を持つ場ができ「ああ、参加して良かった」そして、後押ししてくれたみんなに「ありがとう」という気持ちでいっぱいでした。2007年には日本で国際アビリンピックが開催される予定で、前回知り合った国内の方たちとの再会を楽しみにしています。

私は現在も洋裁の仕事が続いています。仕事ができるうちはずっと続けていきたいし、障害を持つ方が着やすいような服が作れたらいいなと考えているところです。



政岡 ミサさん

チェコ共和国で行われた国際障害者技能競技大会「アビリンピック」に出場。ほぼ4年に1度開催される同大会は、職業技能競技のほか、生活余暇技能競技、会議の3部門42種目に分かれて技を競う。政岡さんは洋裁技能で出場。3時間の制限時間内に与えられた工具を使っての女性用ブラウス作成に挑戦した。生まれつき左腕が不自由だった政岡さんは鹿児島障害者職業能力開発校で洋裁の技術を身につけ、同校在学中の97年に全国大会で金賞を受賞。



一人でも多くの障害者の参加を

そして10月、シドニーで開かれたパラリンピック大会。会場にはロサンゼルス在住の兄さんも応援に来てくれた。熱気につつまれた会場で岡留さんは集中する。立射566点で18位、伏射592点で38位。まずまずの成績である。本人は「世界では立射で590点以上、伏射ではパーフェクトの600点満点を出さないと通用しません。い

るる学ぶことが多い大会でした。4年後のアテネではメダルを取りたいですね。」と語り、早くも照準はアテネに向けられている。「今回、日本は初参加ということ、順位よりもまずは参加することでした。日本での障害者の射撃の歴史は20年くらい。パラリンピックを目指す競技団体ができたのも97年で、競技者は300名ほどです。ですから、もっと多くの障害者が射撃を始めたいですね。射撃は重度障害の方でもできま



すし、男女も問いません。高齢でも大丈夫です。僕も射撃の楽しさを一人でも多くの人に伝えたいですね。」

岡留さんの良き師である森田紘二県ライフル射撃協会理事長はこう語ります。



岡留君が「ライフル射撃をやりたい」と言ってくれたときは、嬉しい反面、重い銃を車いすを使って持ち運ぶしなきゃいけないので本当にできるかどうかとも思いました。しかし、彼のひたむきさ、誠実さがすぐ結果となっ

てありわれ、わずか2年でパラリンピック出場という快挙を成し遂げてくれました。射撃の基本的なこととは教えました。彼自身とても研究熱心でした。めきめきと上達し、私は健常者と同じように彼と接しています。県のライフル射撃場は、現在改装を行っています。完成すれば、自動ドアや車いす用のスロープ、それに夜間照明、冷暖房などが完備します。健常者・障害者の別なく、もっと多くの人に射撃の楽しさを味わって欲しいですね。



コミュニケーションはあってもバリアはない。

競技を始めてわずか2年でパラリンピック出場という岡留さんの能力の高さに驚くとともに、「岡留君とは健常者と同じように接している」とおっしゃる森田理事長の言葉に、「二人の絆の強さを感じた。新しいことにチャレンジする時、身近にそうした場がなかったり、道具が揃わなかったりであきらめることが多いのだが、岡留さんは自分がやりたかった射撃について自分で調べ、現場を実際に見学して、新しい世界へと飛び込んでいった。その情熱を受け入れ、なんら特別扱いすることなく練習を積ませた協会にも拍手を送りたい。スポーツを通じてお互いが切磋琢磨する中に、フリーなコミュニケーションはあってもバリアは存在しないのである。岡留さんを国体に出場させ、入場式で彼の車いすを押すことが夢とおっしゃる森田理事長、私たちもその日を楽しみにしています。

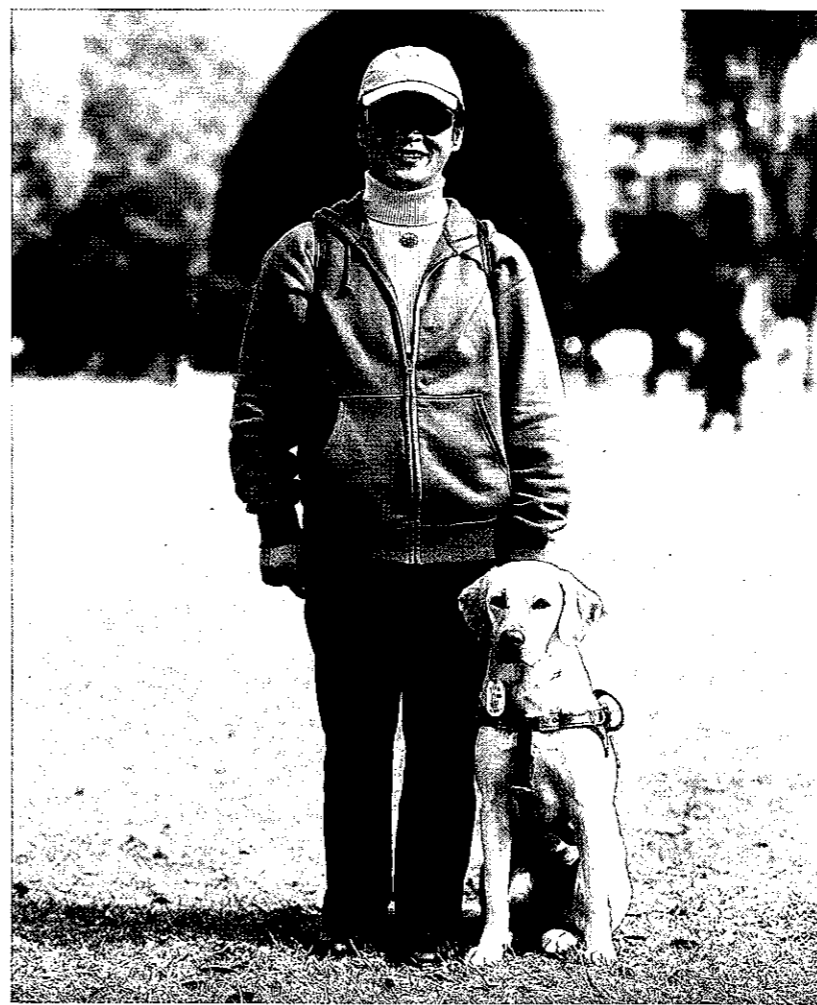
さらばりあ塾

1

ちよつとひと声かけてあげる。たったそれだけで、障害を持つ人が暮らしやすい社会になるのです。本塾では、だれでも簡単にできる心のバリアフリーについて学習します。学んだことは、忘れないうちに実践してください。ほんの少しの勇気があればできることです。

今回の
塾長

アイメイト鹿児島 内野カツ子会長と
アイメイト(盲導犬)のプティちゃん

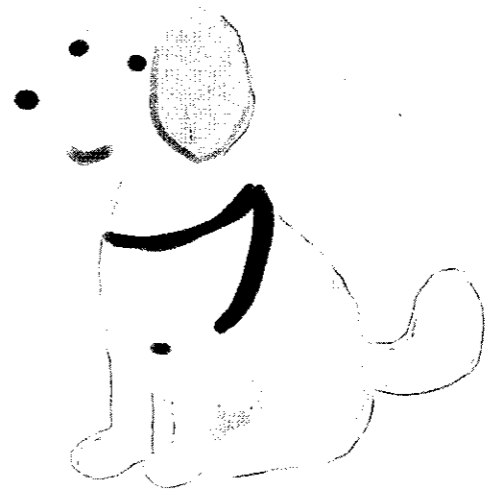


アイメイト鹿児島の活動は?

アイメイト鹿児島(アイメイト使用者の会)は、平成3年に設立。現在18名の会員と17頭のアイメイトからなり、内野さんは2代目の会長さんです。

アイメイト鹿児島では、盲導犬の普及や盲導犬の存在を一般の方々に理解してもらい、安心して社会参加ができることを目的とした啓発活動を行っています。現在、鹿児島県内の盲導犬の使用者は18名いらっしゃいます。また、満たないといった状況です。

「アイメイトは、私たち視覚障害者にとって目そのものです。アイメイトを連れて歩くと、本当に自分が見えているような状態になり、風を切って歩くことができます。それに、たくさんの人に声をかけてもらえるので、「コミュニケーションをはかる一助ともなります。」と内野さん。



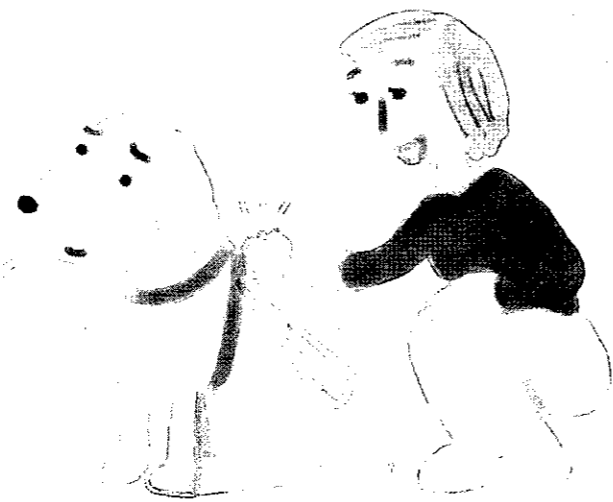
同じくアイメイト鹿児島の三雲明美さんは、日本パラリンピック陸上100メートルと200メートルの優勝者。「以前は、レストラン等では門前払いでしたが、最近はバリアフリーが定着して、たいていの所に入りにできるようになりました。」と、盲導犬や使用者に対する理解が深まったことを語ってくれました。

入門編

まちで盲導犬に出会ったら?

◎犬に声をかけないで

犬の名前を呼んだり「ヨシ、ヨシ」と声をかけていただくのはありがたいことですが、犬の誘導を混乱させますので声はかけないでください。それから、口笛などで、犬を誘うのもつしんでください。



◎食べものを与えないで

犬は、規則正しく食事をとるように訓練を受けています。食べものを与えるのはご遠慮ください。

◎使用者には声かけを

盲導犬を連れていても、使用者がまちを歩くときは不安でいっぱいです。道路の前方に障害物があったり、バス乗り場の位置などをお教えいただく場合は、事前に声をかけてくだされば助かります。

コラム

おりこうな不服従

前へ進むときは「ゴー」と英語で命令すれば、犬はその通りに誘導してくれます。しかし、仮に青信号で「ゴー」と命令されても、横切る車がいたら、犬は前に進みません。使用者の安全を最優先するための行動で、これを「おりこうな不服従」と言います。

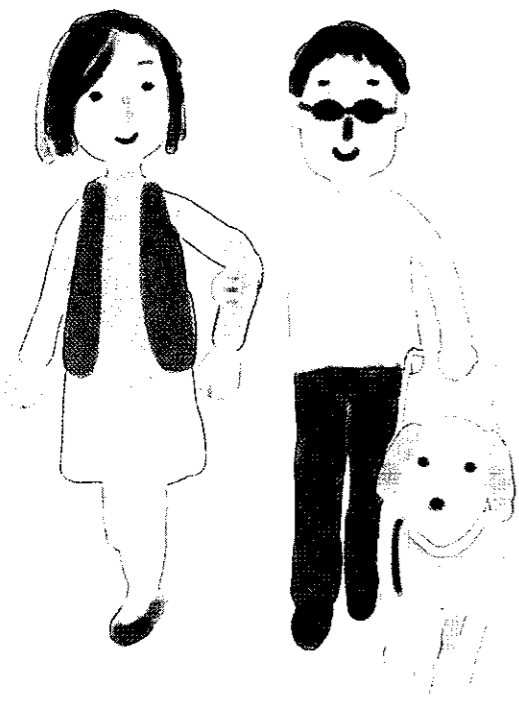


◎犬にさわらないで

盲導犬は、視覚障害者にとって目なのです。急に目にさわられたら不愉快ですし、視界もさえぎられてしまいます。ですから、どんなに犬好きな方でも、盲導犬には絶対さわらないでください。

◎ハーネス(胴輪)にさわらないで

黄色か白のハーネスをつけている時、犬は仕事中です。また、ハーネスは犬と使用者を結ぶ大切なコミュニケーションの道具ですから、さわられるとお互いの意思が通じません。ハーネスにもさわらないでください。



盲導犬って、どんな犬？

盲導犬とは、視覚障害者の目の代わりになって歩行の安全を助けるために特別に訓練された犬のことです。白または黄色のハーネス(胴具)を付けるように義務付けられています。

盲導犬候補犬は生後1年〜1年2カ月頃から訓練を受けます。最初に使用者への服従心と学習への態度の基礎をつくる「服従訓練」を受けます。次に、ハーネスを付け、段差や分岐点の告知、障害物回避・信号や踏切の横断、電車やバスの乗降などを教える「誘導訓練」があります。こうした訓練を受けた後に、指導員が仕上げとテストをくりかえします。

訓練を受けたから、どんな使用者でも誘導できるわけではありません。使用者との相性などもありますから、使用者とできるだけ性格の似ている盲導犬がペアを組み、いっしょに生活をしながら指導を受けます。こうした訓練や指導を経て、やっと使用者との実生活が始まるわけですが、お互いが完璧にコミュニケーションをとれるようになるまでは、それからまたある程度の歳月を必要とします。

体験編

盲導犬と初のウォーキング体験

盲導犬に誘導してもらおうと、実際にどのようなところが安心で快適なんだろうか。また、私たちの住むまちが本当に盲導犬と使用者に対して歩きやすくなっているのだろうか。そんなことを実感していただくために、鹿児島市内を、実際に盲導犬を連れて、白杖を使っていっしょに視覚障害者の方と健常者の方に体験歩行してもらった。

●瀬野浦 祐矩さん(視覚障害者)

歩くのがすごく速くてびっくりして、歩行に必死でした。ぶだん使っている杖ですと、慣れている場所での移動はいいのですが、初めての場所や放置自転車など予測のつかない障害物のある所が怖いんですね。その点、盲導犬はぶつかりそうなものがあれば、避けたり立ち止まってくれるので、すごく安心だと思えますね。



瀬野浦祐矩さん

●上山 京子さん(健常者)

アイマスクをつけた時点で、右も左もわからないので腰が引けてしまい、こういう状態で歩くことの大変さを実感しました。盲導犬の誘導で、かろうじて歩けるもの、どこが横断歩道なのか、さらには車道と歩道の区別もつきません。地理は頭に入っているも全然わからないという状態です。

上山京子さん(左)



徳満理一郎さん(右)

●徳満 理一郎さん(視覚障害者)

最初は盲導犬の足を踏んづけるんじゃないかと、それだけが心配でした。杖に比べたら、とてもスムーズな移動感がある。こんなにスムーズに移動できるのは魅力ですね。杖の場合ですと、さくさく歩いていきますので、とても時間がかかります。危険を避けるために、回り込んだり止まったりして、くれるのはありがたいと思えますね。



知識としてではなく 体で覚えて欲しい

(財)アイメイト協会 歩行指導員
高橋 豊さんと
アイメイト(盲導犬)のメリアちゃん

視覚障害をお持ちの方が、だれでもすぐにアイメイトを使えるかというと、そうでもありません。お互いの性格や視覚障害の程度によって違ってきます。私たちは、アイメイトを自分の目としてコントロールできるように指導していますが、知識としてではなく体験の中で覚えてほしいと思っています。指導等で鹿児島にも何度か来ましたが、ハード面でのバリアフリーが進んだように思います。今度は心のバリアフリーに力をそいでほしいですね。

あ、わか、ことば

～手話で話そう～
さつき 咲月

Deaf倶楽部とは鹿児島市で詩人・編集者として活躍している咲月遙(本名:沢田利江)さんを中心とした聴覚障害をもつ方々で構成された4名の情報誌制作グループ。今回は、グループのリーダーでもある咲月さんに、だれにでもできる簡単な手話を実演していただいた。

外国に行ったら どうしますか？

私もそうですが、みなさん外国に行ったとしたら、当然その国の言葉で話さないと通じませんね。自分ひとり日本語で話している相手とコミュニケーションをとることができません。手話も外国語とまるっきり同じです。聴覚障害者と心から語り合おうには、道具をなにもつ用意



咲月 遙さん
聴覚障害者にと
って大切なコミ
ニケーション

ユニケーションの方法です。正確な情報を得たり、お互いの意思の疎通を図るために手話が必要で、生活の中で欠かすことのできない言葉なのです。

イメージをそのまま表現する手話

「お昼」というのを思い浮かべますか。お弁当ですか、お日様が南に来た状態ですか。手話では、下の写真のように、人差し指を立て中指を折って額のまん中へ持っています。正午に時計の長い針と短い針が重なった様子を表しています。このように、ことばの意味するもの、あるいは、ことばの視覚的なイメージを手と指によって表現していきます。

ですから、一つひとつ単語のスペルを覚えたり、むずかしい文法をマスターすることなく会話を楽しむことができます。また、手話には指文字といって、あいいうえおやABC、数字などを指で表現することができます。固有名詞などは、そうした指文字で伝えることができます。手話が全部理解できなくても指文字によって伝えたい言葉を伝達することも可能なのです。

世界がグーんとひろがる手話

私は、小さい頃、少しかだけ手話を使っていました。手話の読み取りもできま

あいさつに関する手話

●ありがとう

①手の甲に他方の手を直角に乗せてから、その手をあげます。顔および体全体で感謝をこめた表情を加えます。



●はじめまして

①両手を重ね、上に置いた方の手の平を丸め、人さし指だけを突き出します。人さし指は「1番目に」という意味を表わします。



●こんにちは

①人さし指と中指を重ねて、額の中央部分へ持ってきます。人さし指は短針、中指を長針に例え、時計が正午をさしている様子を表しています。



した。それから20年ほど手話を使うことはあまりありませんでしたが、4年前に鹿児島県聴覚障害者協会の青年部に入ってから聴覚障害者のおつきあいが増え、手話を覚えるようになりまし。画親もろう者ですし、自分で手話を覚えようという意識になっていきました。から、ろう者の友だちといっしょにいる時間が多くなるに連れ、自然と身に付いていきました。手話で話すようになってから、

私の世界はすいぶん広がりました。ですから、健聴者の方が手話を学んでくれて、私たちが会話ができればお互いの理解は深まり、世界はもっとひろがっていきます。外国語を学ぶには外国人とお友達になるのが上達の早道ですが、手話の早道も聴覚障害者とお友だちになることです。手話を学んで、いろいろな意見の交換ができたらきっと楽しいと思えますよ。

②両手の人さし指を自分と相手側に立て、向かい合わせてから、お互いに近づける。2人が会う様子を示します。



②人さし指を立てて向かい合わせ、そのまま両方の指先を曲げます。2人がお互いにおじきをしているかたちです。

